

私にとっての森の幼稚園的な活動だったのかも

レポート：多田 聡

★参加の動機

私にとってこの研修に申し込んだ理由はいくつもありました。最初の動機は、森の幼稚園の様子を見てみたいということです。森の幼稚園の SNS での情報を見て、この日程なら行けそうかなと思って申込みをしました。

二つ目は北欧の福祉制度に関心があったことです。特別なニーズがある方々に対してどのような制度が整えられているのか、現場を見てみたかったということです。そして、個人的には自分の子どもに障がいがあることや、母親に介護が必要な状況があるなど、社会福祉は身近な問題でもありました。この研修は、そうした私の参加動機を叶えるためにもってこいの内容だったのです。

★出会い

一番の収穫は、たくさんの人と出会いがあったことでしょう。参加者の皆さんとの出会いはもちろんのこと、研修でまわった福祉の現場で多くのデンマークの方々に会うことができました。

そして、その出会いのすべてが質の高いものであったことは本当に得がたい経験になりました。これはいうまでもなく夏代さん、中能さんのお力によるものですが、同時にこれまで継続して来た実績、あるいはこの研修で積み重ねてきた思い（徳）のたまものであると感じました。出会ったすべてのみなさんに感謝いたします。



<トータムポールのぼりに挑戦、見事成功>

★自然体験

私は野外教育（自然の中での体験教育）を専門にしています。自分が指導にあたるときには、その時、その場でしかできないことを子どもたちや学生に体験してもらいたいと考えています。旅行に行くときもなるべくその場でしかできない経験をしたいのです。

その土地の自然は、その土地に固有のものだから、旅行に行ったら自然に触れるのがいいと思っています。その意味で観光地はだめです。人工的だけ

ら。毎日のように散歩に出かけましたが、その意味がよく分かります。

天気に恵まれたことも大きかったのかもしれませんが、美しいロスキレの風景を身体で感じる事ができた気がします。

ロスキレ市を中心にした研修内容は、歩ける範囲の生活を実感することができてすごく良かったです。デンマークという国が私にとって身近で特別な国になりました。これこそが私にとっての森の幼稚園的な活動だったのかもしれない。

★女性の活躍

人も自然の一部ですから人と会うことは、その土地の自然に触れることと同じように大切だと思っています。自然の景観を見てこれがデンマークならではの風景だなと感じるのと同じように、出会った人がデンマークの顔になります。みなさん、生き生きと生活しているなという印象でした。

福祉の現場が多かったということが

あるかもしれませんが、どこへ行っても女性が生き生きと活躍している様子が素晴らしいと思いました。

特にロスキレ市長のジョイさんにお話を伺ったことは印象に残っています。あの若さと情熱に何か希望を感じました。日本にも必要な力です。

★琴線に触れる

今回の研修に参加して、非常に多くの知識や情報を得ることができたのはもちろんですが、同時にどの体験もここに響くものでした。この研修をどのように今後の自分の生活や仕事に生かしていくかを考えたとき、ここで得た知識や情報を活用することよりも、自分がここで実際に見聞きした時に感じた、美しい景色や心地いい雰囲気など、自分の身の回りにもある心の琴線に触れる物事を大切にしていこうと思いました。



＜ロスキレ市長ジョイさんを囲んで＞